

資 料 編

- 1 文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会 検討経過
- 2 文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会 委員等名簿
- 3 文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会 設置要綱
- 4 文京区立図書館改修工事等の概要
- 5 平成 30 年度図書館利用者アンケート集計結果
- 6 公共図書館における電子書籍貸出サービスについて
- 7 図書館資料の IC タグ管理について
- 8 閲覧席等について
- 9 図書館行事について
- 10 小石川図書館改築の検討について
- 11 竹早公園現況平面図

文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会
検討経過

	開催日	主な議題
第1回	令和元年6月18日	文京区立図書館の現状と課題について
第2回	令和元年7月9日	今後の図書館機能のあり方について
第3回	令和元年7月29日	今後の図書館機能のあり方について②
第4回	令和元年9月17日	小石川図書館の改築について
第5回	令和元年10月21日	小石川図書館の改築について②
第6回	令和元年11月27日	中間のまとめ
第7回	令和2年2月18日	小石川図書館を除く地域図書館の改修について
第8回	令和2年7月7日	小石川図書館を除く地域図書館の改修について②
第9回	令和2年10月29日	文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会最終報告(案)について

文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会委員等名簿

	区分	氏名	団体名等
1	学識経験者	植松 貞夫	筑波大学名誉教授
2	学識経験者	長谷川 幸代	跡見学園女子大学・文学部講師
3	区立幼稚園PTA代表	高野 舞	文京区立幼稚園PTA連合会
4	区立小学校PTA代表	岩本 祐輔	文京区立小学校PTA連合会
5	区立中学校PTA代表	鎗 清二	文京区立中学校PTA連合会
6	保育園保護者代表	原 一成	文京区認可保育園父母の会連絡会
7	町会代表	諸留 和夫	文京区町会連合会
8	出版関係者	廣松 英樹	株式会社 福音館書店
9	公募区民	北嶋 好之	
10	公募区民	高柳 茂美	
11	公募区民	太刀川あすか	
12	区職員	山崎 克己	教育推進部長
幹事	指定管理者	山田 万知代	小石川図書館長 株式会社図書館流通センター
幹事	指定管理者	山口 真	本郷図書館長 ヴィアックス・紀伊国屋書店共同事業体
幹事	区職員	大川 秀樹	企画政策部企画課長（～令和2年3月）
		新名 幸男	企画政策部企画課長（令和2年4月～）
幹事	区職員	竹田 弘一	区民部区民課長（～令和2年3月）
		福澤 正人	区民部区民課長（令和2年4月～）
幹事	区職員	細矢 剛史	アカデミー推進部アカデミー推進課長
幹事	区職員	松原 修	教育推進部教育指導課長
幹事	区職員	川崎 慎一郎	教育推進部真砂中央図書館長（～令和元年7月7日）
		内藤 剛一	教育推進部真砂中央図書館長（令和元年7月8日～）

事務局	区職員	根小屋 晃子	教育推進部真砂中央図書館管理係長
事務局	区職員	松本 健	教育推進部真砂中央図書館サービス事業係長（～令和2年3月）
事務局	区職員	松本 美紀	教育推進部真砂中央図書館サービス事業係長（令和2年4月～）
事務局	区職員	鈴木 佐千子	教育推進部真砂中央図書館計画担当主査
事務局	区職員	元木 絹枝	教育推進部真砂中央図書館管理係
事務局	区職員	嶋山 慎吾	教育推進部真砂中央図書館サービス事業係
事務局	区職員	倉持 正雄	教育推進部真砂中央図書館サービス事業係

文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会設置要綱

30文教教真第216号

平成31年1月9日教育長決定

(設置)

第1条 文京区立小石川図書館（以下「小石川図書館」という。）の改築及び地区図書館の老朽化への対応により、文京区立図書館の一層の機能向上を図るに当たり、専門的かつ客観的な立場から幅広く検討を行うため、図書館の改修等に伴う機能向上検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 文京区立図書館改修等に伴う機能向上に関する事。
- (2) 小石川図書館の改築に関する事。
- (3) その他老朽化した図書館の改修及び改築に関する事。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱し、又は任命する委員12人以上をもって組織する。

- (1) 学識経験者 2人
 - (2) 区立小学校、区立中学校及び区立幼稚園PTA連合会の推薦による者 各1人
 - (3) 文京区認可保育園父母の会連絡会の推薦による者 1人
 - (4) 文京区町会連合会の推薦による者 1人
 - (5) 区内出版関係者 1人
 - (6) 公募区民 3人以内
 - (7) 教育推進部長 1人
- 2 前項第6号に規定する公募区民の委員（以下「区民委員」という。）は、別に定めるところにより、募集する。

(任期等)

第4条 委員の任期は、委員の委嘱を受けた日から委員会終了までとし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、区民委員が欠けたときは、これを補充しない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、第3条第1項第1号に規定する学識経験者のうちから委員の互選によって定め、委員会を総括する。
- 3 副委員長は 委員のうちから委員長が指名する者とし、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(幹事)

第6条 委員会に幹事を置く。

2 幹事は、企画政策部企画課長、区民部区民課長、アカデミー推進部アカデミー推進課長、教育推進部教育指導課長及び教育推進部真砂中央図書館長の職にある者並びに文京区立図書館の指定管理者とする。

3 幹事は、委員会に出席して意見を述べることができる。

(召集)

第7条 委員会は、委員長が召集する。

2 委員長は、委員の半数以上の出席がなければ、委員会を開くことができない。

(会議の公開)

第8条 委員会は、公開とする。ただし、委員長が公開することが適当でないとき認めるときは、この限りでない。

(意見聴取)

第9条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、教育推進部真砂中央図書館において処理する。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、決定の日から施行する。

文京区立図書館改修工事等の概要

No.	図書館名	竣工年月※	築年	平成28年度以前 主な工事	平成29年度	平成30年度	令和元年度予定
1	真砂中央図書館	昭和51年1月	43	大規模改修工事 (平成28年度)		ブロック塀撤去工事	防犯カメラ設置
2	本郷図書館 〔汐見地域センター内〕	平成18年4月	13		防犯カメラ設置 (指定管理者が設置)		
3	小石川図書館	昭和41年4月	53	耐震補強等改修工事 (平成11年度)	防犯カメラ設置 (指定管理者が設置)	防水改修、外壁等改修 内装改修、空調設備改修	トイレ洋式化工事
4	本駒込図書館 〔勤労福祉会館、都営住宅併設〕	昭和49年5月	45	トイレ改修工事 (平成25年度)		勤労福祉会館外壁改修工事	勤労福祉会館外壁改修工事 防犯カメラ設置
5	水道端図書館	昭和53年4月	41			防水改修、屋上高置水槽改修 揚水ポンプ改修、空調設備改修 照明設備改修	トイレ洋式化工事 防犯カメラ設置
6	目白台図書館	昭和58年6月	35	空調設備・屋根改修 (平成24年度)		エレベーター改修	防犯カメラ設置
7	千石図書館 〔アカデミー千石併設〕	平成5年12月	25	エレベーター改修 (平成26年度)		外構改修	ブロック塀撤去工事 防犯カメラ設置
8	湯島図書館 〔湯島総合センター内〕	昭和55年4月	39	冷暖房設備増設工事 (平成27年度)	トイレ改修 サッシ新設		防犯カメラ設置
9	根津図書館 〔不忍通りふれあい館内〕	平成14年4月	17				
10	大塚公園 みどりの図書館	平成3年4月	28				

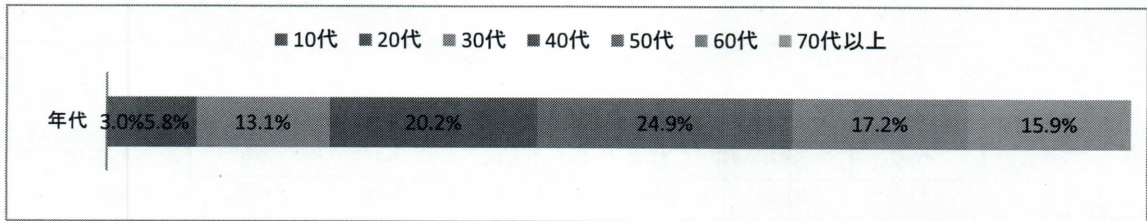
※ 竣工年月……現在の建物が開館した年月（移転による開館を含む）

平成30年度 図書館利用者アンケート集計【全館】

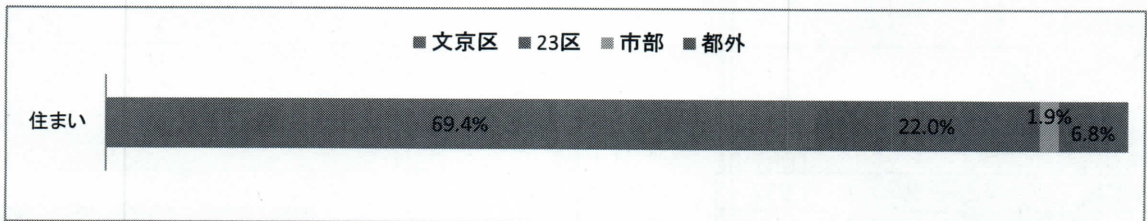
アンケート回答数 2,173件

ご自身について

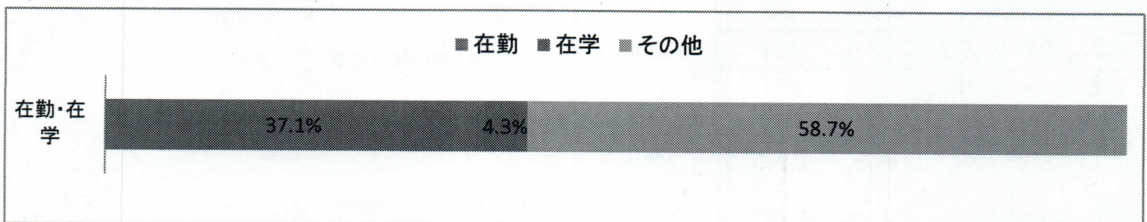
年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
	63	121	275	426	524	361	334	2,104
	3.0%	5.8%	13.1%	20.2%	24.9%	17.2%	15.9%	100%



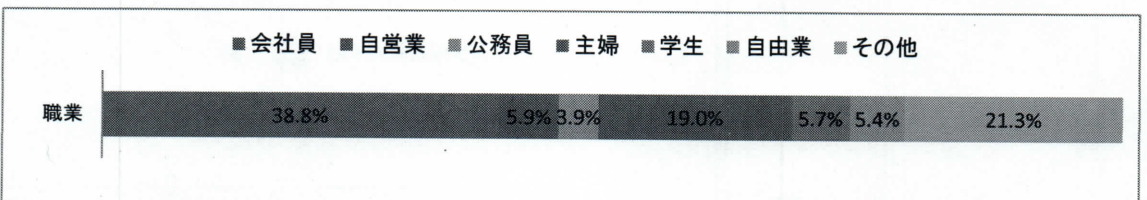
住所	文京区	23区	市部	都外	合計
	1,495	474	40	146	2,155
	69.4%	22.0%	1.9%	6.8%	100%



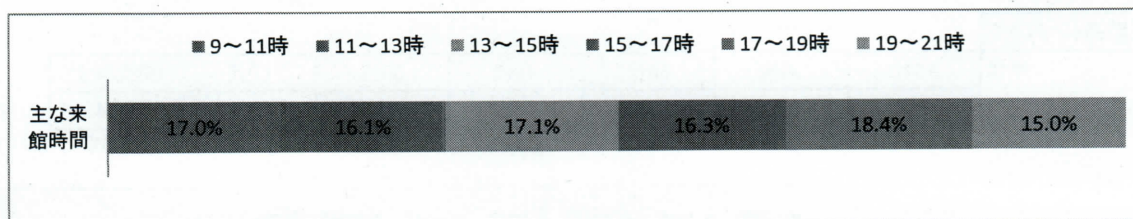
在勤・在学	在勤	在学	その他	合計
	209	24	331	564
	37.1%	4.3%	58.7%	100%



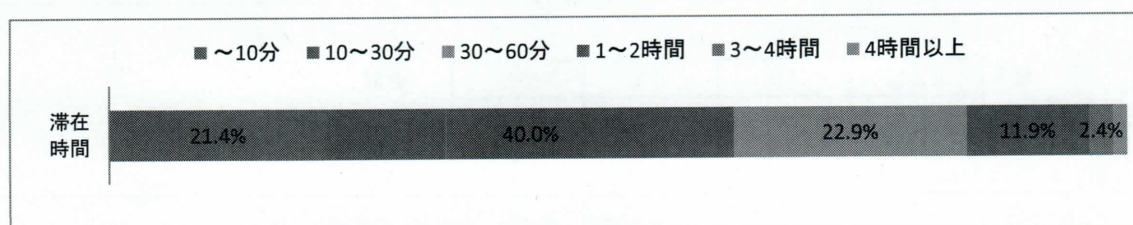
職業	会社員	自営業	公務員	主婦	学生	自由業	その他	合計
	829	125	83	405	122	115	455	2,134
	38.8%	5.9%	3.9%	19.0%	5.7%	5.4%	21.3%	100%



主な来館時間	9～11時	11～13時	13～15時	15～17時	17～19時	19～21時	合計
	417	394	419	399	451	367	2,447
	17.0%	16.1%	17.1%	16.3%	18.4%	15.0%	100%

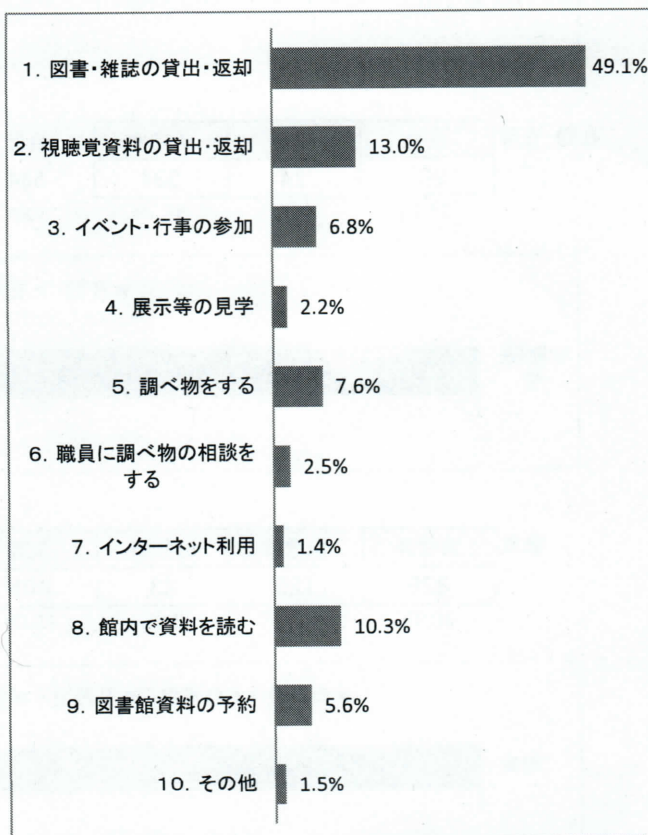


滞在時間	～10分	10～30分	30～60分	1～2時間	3～4時間	4時間以上	合計
	455	848	486	253	51	29	2,122
	21.4%	40.0%	22.9%	11.9%	2.4%	1.4%	100%

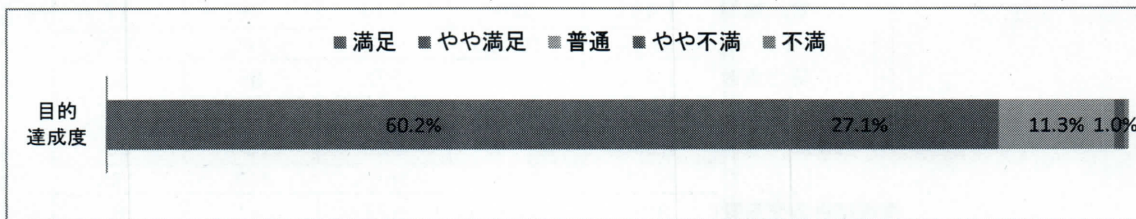


来館目的 (複数回答可)

1. 図書・雑誌の貸出・返却	1,937	49.1%
2. 視聴覚資料の貸出・返却	514	13.0%
3. イベント・行事の参加	269	6.8%
4. 展示等の見学	86	2.2%
5. 調べ物をする	302	7.6%
6. 職員に調べ物の相談をする	99	2.5%
7. インターネット利用	54	1.4%
8. 館内で資料を読む	407	10.3%
9. 図書館資料の予約	221	5.6%
10. その他	60	1.5%
合計	3,949	100.0%

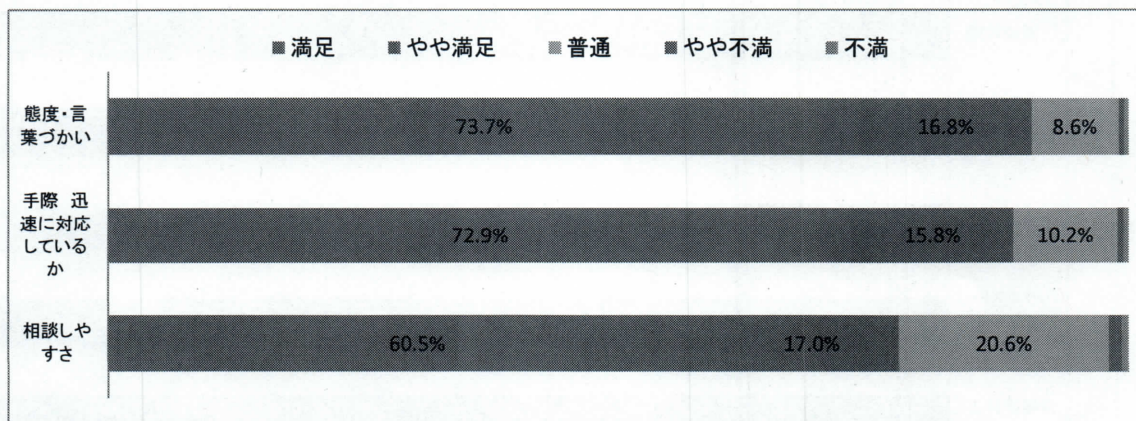


目的達成度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	合計
	1,174	529	221	20	7	1,951
	60.2%	27.1%	11.3%	1.0%	0.4%	100%



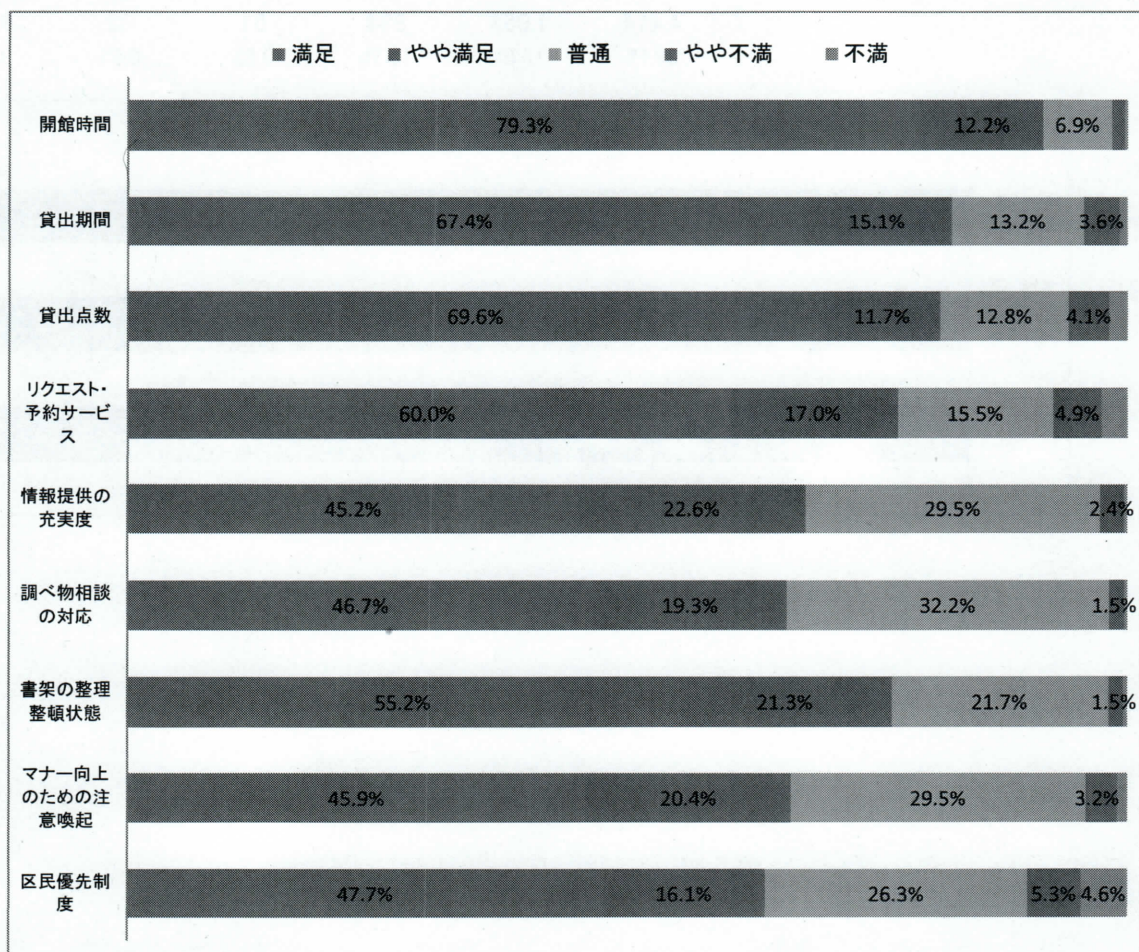
職員について

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	合計
態度・言葉づかい	1,583	360	184	12	8	2,147
	73.7%	16.8%	8.6%	0.6%	0.4%	100%
手際 迅速に対応しているか	1,567	339	220	13	10	2,149
	72.9%	15.8%	10.2%	0.6%	0.5%	100%
相談しやすさ	1,264	354	430	26	14	2,088
	60.5%	17.0%	20.6%	1.2%	0.7%	100%
合計	4,414	1,053	834	51	32	6,384
	69.1%	16.5%	13.1%	0.8%	0.5%	100%



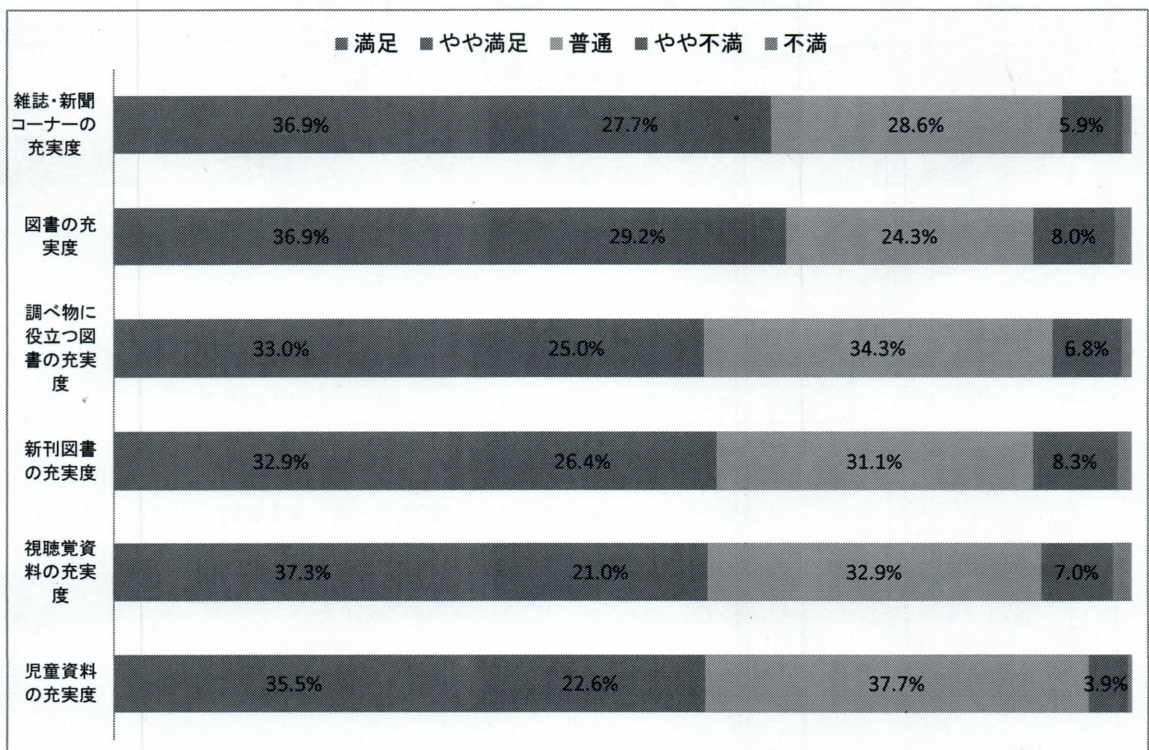
運営サービス

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	合計
開館時間	1,698	261	148	27	6	2,140
	79.3%	12.2%	6.9%	1.3%	0.3%	100%
貸出期間	1,433	320	280	76	17	2,126
	67.4%	15.1%	13.2%	3.6%	0.8%	100%
貸出点数	1,474	247	272	86	39	2,118
	69.6%	11.7%	12.8%	4.1%	1.8%	100%
リクエスト・予約サービス	1,236	350	320	100	53	2,059
	60.0%	17.0%	15.5%	4.9%	2.6%	100%
情報提供の充実度	898	449	587	47	6	1,987
	45.2%	22.6%	29.5%	2.4%	0.3%	100%
調べ物相談の対応	873	360	603	28	6	1,870
	46.7%	19.3%	32.2%	1.5%	0.3%	100%
書架の整理整頓状態	1,127	434	443	30	8	2,042
	55.2%	21.3%	21.7%	1.5%	0.4%	100%
マナー向上のための注意喚起	900	400	578	62	19	1,959
	45.9%	20.4%	29.5%	3.2%	1.0%	100%
区民優先制度	937	316	516	105	91	1,965
	47.7%	16.1%	26.3%	5.3%	4.6%	100%
合計	10,576	3,137	3,747	561	245	18,266
	57.9%	17.2%	20.5%	3.1%	1.3%	100%



蔵書・資料

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	合計
雑誌・新聞コーナーの充実度	693	520	537	111	16	1,877
	36.9%	27.7%	28.6%	5.9%	0.9%	100%
図書の充実度	735	581	484	159	32	1,991
	36.9%	29.2%	24.3%	8.0%	1.6%	100%
調べ物に役立つ図書の充実度	608	462	632	126	17	1,845
	33.0%	25.0%	34.3%	6.8%	0.9%	100%
新刊図書の充実度	621	498	588	157	25	1,889
	32.9%	26.4%	31.1%	8.3%	1.3%	100%
視聴覚資料の充実度	631	356	556	119	30	1,692
	37.3%	21.0%	32.9%	7.0%	1.8%	100%
児童資料の充実度	561	358	596	61	6	1,582
	35.5%	22.6%	37.7%	3.9%	0.4%	100%
合計	3,849	2,775	3,393	733	126	10,876
	35.4%	25.5%	31.2%	6.7%	1.2%	100%

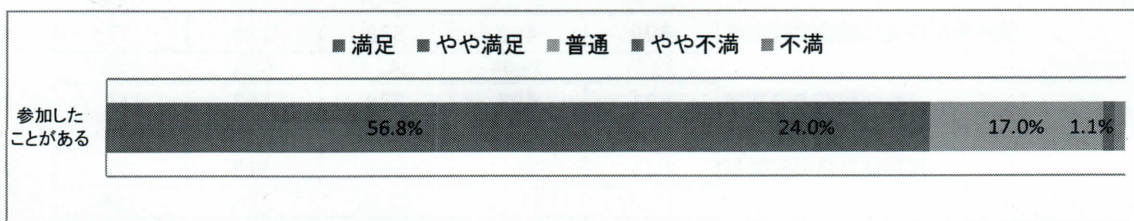


催し物

講演会・映画会 等

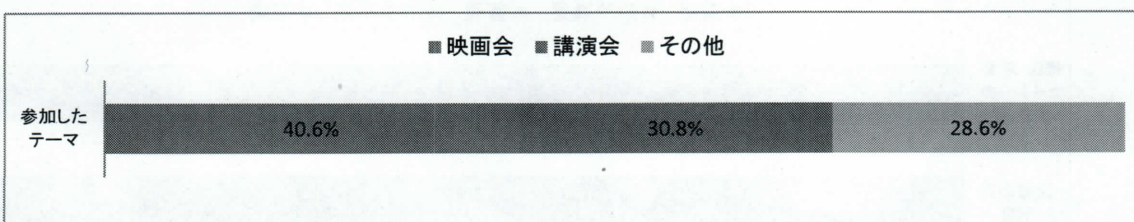
参加したことがある

満足	やや満足	普通	やや不満	不満	合計
371	157	111	7	7	653
56.8%	24.0%	17.0%	1.1%	1.1%	100%



参加した催し物

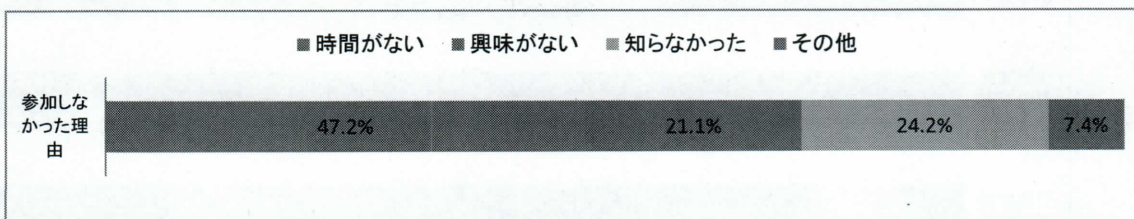
映画会	講演会	その他	合計
298	226	210	734
40.6%	30.8%	28.6%	100%



参加したことはない

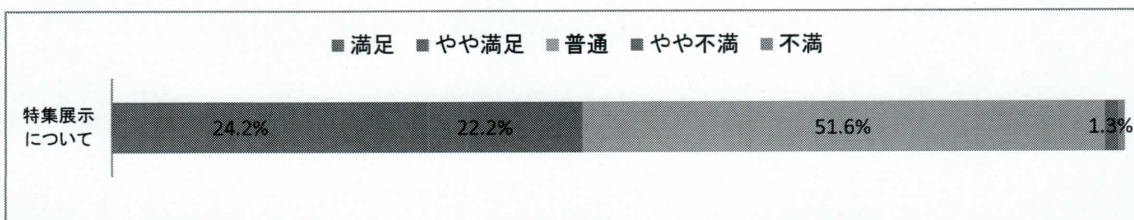
参加しなかった理由

時間がない	興味がない	知らなかった	その他	合計
629	281	323	99	1,332
47.2%	21.1%	24.2%	7.4%	100%



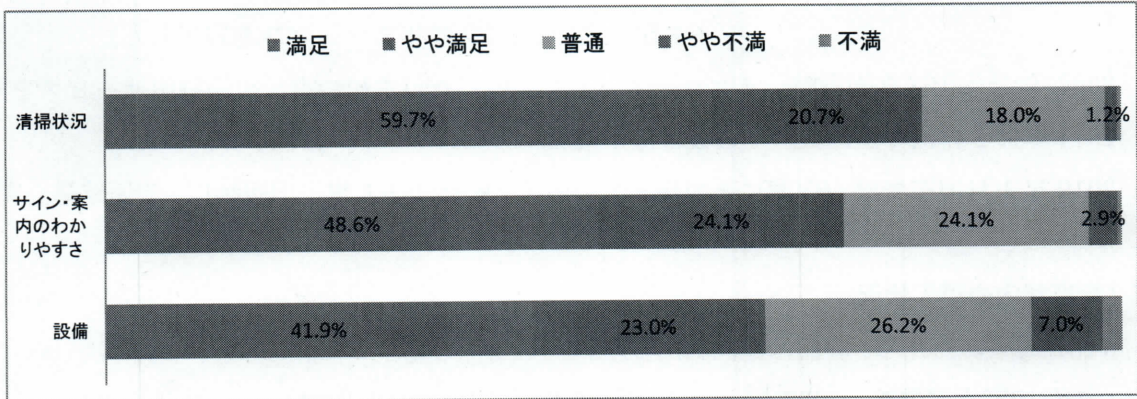
特集展示

満足	やや満足	普通	やや不満	不満	合計
250	229	532	13	7	1,031
24.2%	22.2%	51.6%	1.3%	0.7%	100%



図書館施設

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	合計
清掃状況	1180	408	356	24	7	1,975
	59.7%	20.7%	18.0%	1.2%	0.4%	100%
サイン・案内のわかりやすさ	949	471	471	56	7	1,954
	48.6%	24.1%	24.1%	2.9%	0.4%	100%
設備	816	447	511	136	37	1,947
	41.9%	23.0%	26.2%	7.0%	1.9%	100%
合計	2,945	1,326	1,338	216	51	5,876
	50.1%	22.6%	22.8%	3.7%	0.9%	100%



公共図書館における電子書籍貸出サービスについて

1 導入経過

2002年北海道岩見沢図書館 2か月間館内閲覧のみのサービス→利用が少ないため終了

2005年奈良県生駒市図書館 ソニーの電子書籍専用端末を使ったサービスを提供。ソニーのビジネス撤退に伴い、2008年にサービスを終了した。

2007年千代田区立図書館 インターネットを活用した日本初の電子書籍貸出サービスを開始。

2011年に5自治体が導入。その後は毎年増加。

2019年1月現在では、83館にまで増えている（一般社団法人電子出版制作・流通協議会調べ）

2 東京都内の導入状況

6館が導入。ただし、2館は館内利用のみ。

- (1) 千代田区立図書館 2007年11月開始 名称「千代田 Web 図書館」

利用システム「LibrariE&TRC-DL」

稼働時は約3,000タイトル 現在は約7,000タイトル

- (2) 東京都立中央図書館(館内利用のみ) 2013年12月開始 名称「電子書籍サービス」

利用システム「EBSCO」「TRC-DL」

約2,000タイトル 端末を貸出して館内で閲覧する形式をとっている。

- (3) 中野区立図書館(館内利用のみ) 2015年2月開始 名称「なかのいーぶっくすぽっと」

利用システム「ヴィアックス電子図書館サービス」(Wi-Fi 配信型電子書籍閲覧サービス)

コンテンツは、絵本、名作文学等。中央館の児童コーナー付近で閲覧。端末貸出あり。

- (4) 豊島区立図書館 2016年4月開始 名称「TRC 豊島電子図書館」

利用システム「LibrariE&TRC-DL」

約6,500タイトル TRCが指定管理業務として運営している。

- (5) 渋谷区立図書館 2018年2月開始 名称「渋谷区電子図書館」

利用システム「LibrariE&TRC-DL」

約6,000タイトル 利用には電子図書館専用のID・PASSが必要

- (6) 八王子市立図書館 2018年4月開始 名称「八王子市電子書籍サービス」

利用システム「LibrariE&TRC-DL」

約8,000タイトル

3 導入メリット、期待される効果

(1) 来館困難者へのサービス強化

◎高齢者、身体障害者など、来館が困難な方への提供が容易。

◎過疎地域や豪雪地帯など、地理的に来館が困難な地域では幅広い利用者層に提供できる。

(2) 視覚障害者等へのサービス強化

◎文字の拡大、音声読み上げ、文字と地色の反転など、紙の書籍にはないアクセシビリティ機能に対する期待がもてる。

◎高齢者にとっても文字の拡大による読書のメリットは大きい。

※「障害者差別解消法」、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（通称：読書バリアフリー法）等により、視覚障害者等への読書環境の整備を推進することが求められている。

(3) デジタル教科書で育つ世代へのサービス強化

◎デジタル教科書による教育を受ける前に、電子書籍に触れる機会を作り順応させる事ができる。

◎デジタル教科書で勉強した世代に、卒業後も継続して読書活動や生涯学習を行う環境を提供できる。

(4) 出版市場の活性化

◎電子書籍の利用者が増えれば、出版市場の活性化も期待できる。

(5) 省スペース化・省力化

◎地域資料や行政資料などを電子化して提供することで、書架の省スペース化が可能。

◎マンガ、コミックエッセイやベストセラー本の複本等、長期的に保有する事が難しい資料について、保存期間・場所を気にする事なく所蔵する事ができる。

◎貸出・返却は自動で行われ、かつ、督促業務も不要となる。

(6) 区民の著作活動への支援

◎紙に比べてデジタル版は比較的容易に書籍化でき、安価で広く頒布することも可能。

◎区民が図書館の本で調べて書いた本を、図書館が電子化して収集・保存・提供することで、知の循環型社会の構築に寄与できる。

(7) 紙で出版されない書籍の収集

◎出版方法も多様化しており、電子書籍のみでの出版という形も増えてきている。

(8) 資料の多元化による調査・学習の支援

◎児童図書の調べ学習に用いるような知識系の図書で、特に図鑑等については、動物や虫の声などの音声データが確認できる、3D画像により形態や動きの確認ができるなど、紙の書籍にはない情報を得ることができる。

◎言語学習において、音声付き資料によりネイティブの発音を聞く事ができる。

4 導入における課題、問題点

(1) コンテンツの質、量、価格

◎図書館向けの販売点数が少ない。(販売コンテンツは事業者によって異なる。取り扱い数は年々増えてきているが、紙の書籍に比べると未だ少ない。)

◎新刊や人気のある電子書籍は図書館向けに販売されるのが通常よりも遅くなる傾向にあり、また、販売されない事もある。

◎紙の本より高額。価格設定は事業者によって異なる。

(2) 事業の継続性

◎サービス提供事業者が事業を中止すれば、自動的に図書館でのサービスも終了となる。(奈良県生駒市図書館の例)

(3) 収集・保存の役割

◎資料の収集・保存・提供という図書館の役割のうち、「提供」部分に限定したものとなる。図書館が単なる貸本屋とならないよう、地域資料や行政資料などの電子化(収集・保存)にも積極的に取り組む必要がある。

(4) 選定事務の増加

◎販売形態や提供の方法が異なるため、紙とは別の選定作業が必要。事務量の増加が予想される。

(5) システム統合の必要性

◎「文の京デジタル文庫」で地域資料や行政資料をPDF形式で提供しており、デジタル資料として統合することが望ましい。

(6) 区内印刷会社、書店への影響

◎電子書籍の普及自体が、区内に多い印刷会社や書店に影響を及ぼす可能性がある。

(7) 児童書に関する諸所の問題点

◎児童図書、特に絵本は親子や読んでくれる大人と子どもとが、読み聞かせをとおしてふれあい、楽しい時間を共有するコミュニケーションツールであるため、読み上げ音声によるイメージの固定や形状が合わない。本の形状や大きさ、紙の質感も含めた世界観全部を作品として届けたいものが紙の児童書や絵本である。その大きさや重さを感じ、紙のページをさわることやめくるともまた子どもの発達において重要なことであるが、電子図書にはそれが無い。

5 その他の電子サービス

◎オーディオブック…「耳で読む本」電子化された朗読資料

◎オンラインデータベース

文京区で提供しているサービスは以下の通り

- ・新聞系（朝日、読売、中日・東京、毎日、日経）
- ・百科事典系（ジャパンナレッジ）
- ・書誌検索系（日外Webサービス、日外eレファレンスライブラリー、Web大宅文庫）
- ・専門情報系（官報情報検索、法情報データベース）
- ・国立国会図書館提供サービス：デジタルコレクション・れきおん（図書館向けデジタル化資料送信サービス）

◎文の京デジタル文庫…平成25年3月より、著作権の切れた古地図や区史等の地域資料、統計等の行政資料を図書館HPに公開している。

図書館資料の IC タグ管理について

1 文京区立図書館の資料管理方式の推移

昭和 53 年(1978 年)、新設した水道端図書館において区内で初めてコンピューター方式による貸出を開始しました。

その後順次、区内図書館のオンライン化をすすめ、平成 3 年(1991 年)に全館オンライン化が完了しました。

平成 18 年(2006 年)本郷図書館の新装開館時は、複合施設による管理上の理由から資料に磁気テープを貼付し、施設入口に BDS ゲート(盗難防止ゲート)を設置しました。

現在では、全館でバーコードによる資料管理を行うとともに、本郷図書館のみ磁気テープを貼付しています。

2 他区の状況

他区では、文京区よりも早くから磁気テープによる BDS ゲートを設置していましたが、平成 17 年頃からは、IC タグによる資料管理方式を導入し始めています。

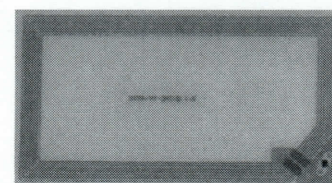
◆IC タグの導入状況

導入済み、導入中 15 区	千代田、中央、港、新宿、台東、墨田、江東、大田、世田谷、渋谷、豊島、北、練馬、葛飾、江戸川
導入予定 2 区	中野(令和 2 年度より)、板橋(令和 2 年度より)
未導入 6 区※	品川、目黒、杉並、荒川、足立、 文京

※未導入 6 区は、いずれも磁気テープによる BDS ゲートを設置しています。目黒は全館、品川、荒川、足立はスペース上置けない館を除いて複数館に設置。杉並は中央館のみ、かつ一部資料のみに磁気テープを貼付しています。

3 IC タグとは

小さな無線 IC チップを埋め込んだタグ(荷札)です。資料に貼付し、電波を当てることで、チップのデータを読み書きすることができます。図書館では、主に 2 種類の IC タグが使われています。



◆図書館で使われる IC タグ

タグの種類	HF 帯(13.56MHz)	UHF 帯(920MHz)
特徴	通信距離が短い	通信距離が長い
通信方式	電磁誘導	電波方式
通信距離	実質数十センチ	実質 3 メートル
通信速度	実質 10kbps 以下	実質数十 kbps

タグの種類	HF 帯(13.56MHz)	UHF 帯(920MHz)
水分の影響	受け難い	受ける =人体の水分も影響する
金属の影響	受ける	受ける
積層性能	やや悪い =タグが重なると読み込み にくい	良い
固有識別子	あり(UID)	なし(TID=一意と言いき れない)

HF 帯は図書館では古くから使われている方式です。

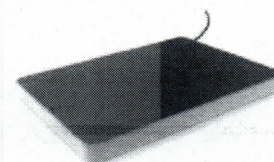
UHF 帯は、主に流通業界で発展し、最近図書館でも使われるようになってきました。電波が広範囲に飛ぶため、設置時に周辺環境(カウンター、書架など)との調整が難しい一方、一度に多数のタグを読み込めるため、団体貸出や資料の移動管理など、新しい活用方法が期待されています。

4 IC タグ関連機器

(1) リーダライタ

IC タグを読み書きする機器です。貸出や返却時に使用します。

IC タグを貼付した資料は、最初にリーダライタで IC タグ情報を図書館システムに登録し、資料管理します。



(2) BDS ゲート

図書館の出入り口に設置し、通過時に IC タグ情報を読み取るゲートです。

不正持ち出しを検知して、アラームを鳴らします。また、入館者数をカウントでき、利用統計に反映することができます。



(3) 蔵書点検機器

IC タグを読み込む、持ち運び式の機器です。

短時間で多数の資料を読み込むことができ、蔵書点検にかかる期間を短縮します。



(4) 自動貸出機

利用者が自分で貸出処理できる機器です。

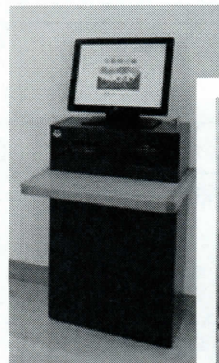
セルフ化により、利用者のプライバシーを保護します。

(5) 自動返却機

利用者が自分で返却処理できる機器です。

セルフ化により、利用者のプライバシーを保護します。

投入と同時に返却処理されるため、利用者はすぐに次の資料を借りることができます。



(6) セルフ予約棚

利用者が自分で予約資料の貸出もできる機器です。図書館の一角に、予約棚コーナーを設置します。

全ての貸出がセルフ化され、利用者のプライバシーを保護します。また、窓口対応や予約資料の管理業務が大幅に軽減され、図書館員は相談業務等に時間を充てるなど、人員の再配置が可能となります。



5 導入方法とメリット、注意点

(1) 全館で一斉に導入する場合

全館資料に IC タグを貼付し、IC タグ管理方式に移行します。

- ・ BDS ゲートを設置することで、不正持ち出しを削減できます。
- ・ 蔵書点検期間を短縮でき、休館日数の削減が期待できます。
- ・ 館の規模に応じて、自動貸出機や自動返却機、予約棚の導入が可能です。フルセットで導入した館については、カウンター人員の再配置が可能となります。
- ・ 既存資料への IC タグ貼付に、約 1 億円の初期経費が必要です。

(2) 1 館ずつ順次導入する場合

1 館ずつ、所蔵資料に IC タグを貼付し、IC タグ管理方式に移行します。

- ・ BDS ゲートを設置することで、不正持ち出しを削減できます。
- ・ 蔵書点検期間を短縮でき、休館日数の削減が期待できます。
- ・ 館の規模に応じて、自動貸出機を導入できます。ただし、自館の在架資料の貸出のみです。貸出の約 3 分の 1 を占める予約資料については、従来のカウンターで貸出を受ける必要があります。
- ・ カウンターでの貸出は、IC タグの有る資料と無い資料(予約本)が混在するため、IC タグによる貸出処理の時間短縮にはつながらない可能性があります。
- ・ 自動返却機や予約棚は、全館の IC タグ貼付が完了するまで、導入はできません。

(3) 所蔵資料を段階的に導入する場合

所蔵する資料のうち新着資料、視聴覚資料、貸出禁止資料、貴重書などを優先して、全館において順次 IC タグを貼付していきます。全資料の貼付が終わるまで、資料はバーコード管理方式で行います。

- ・BDS ゲートでは、IC タグが貼付された資料のみ不正持ち出しを検知します。(機器のしくみ上、UHF 帯タグでのみ可能な運用でしたが、最近では、HF 帯でも開発を進めているベンダーがあります。)
- ・既存資料への一括 IC タグ貼付が不要のため、初期コストを抑えることができます。
- ・バーコードを使った自動貸出機の設置も可能です。(目黒区では磁気テープを貼付し、バーコードを使ったセルフ貸出機を設置している館があります。)

6 導入における課題

(1) コスト

導入にかかる費用の目安は、以下のとおりです。

① 全館一斉導入し、全館に自動貸出機を設置した場合

初期経費 約 1 億 2,000 万円
(設置費用 約 1,500 万円、タグ貼付費用 約 1 億 500 万円)
運用経費 約 4,200 万円/1 年

② 真砂中央図書館のみ導入し、自動貸出機、自動返却機、セルフ予約棚のフルセットを設置した場合

初期経費 約 1 億 1,000 万円
(設置費用 約 500 万円、タグ貼付費用 約 1 億 500 万円)
運用経費 約 2,500 万円/1 年

③ 全館に BDS ゲートのみ設置した場合

初期経費 約 1,300 万円 (設置費用のみ)
運用経費 約 2,000 万円/1 年

(2) 設置スペース

自動返却機やセルフ予約棚については、設置するために一定程度のスペースが必要です。既存館では、開架書架を撤去するなどして設置スペースを確保する必要があります。

平成 28 年度に全面改修した真砂中央図書館は、自動貸出機、自動返却機、セルフ予約棚の設置が可能ですが、地区館については、今後の改築又は改修時に、セルフ機器の設置スペースについて検討していきます。

ただし、小規模館(大塚公園みどりの図書室、根津図書室)については、関連機器の小型化等が実現した時点で導入の検討が可能になります。

閲覧席等について

館名	延床面積(m ²)	閲覧席数			インターネット用端末 未席数
		机あり(電源あり)	机なし	計	
真砂中央	2,893	110 (28)	44	154	4
本郷	985	41 (3)	37	78	2
小石川	1,994	114 (8)	28	142	2
本駒込	1,302	81 (2)	13	94	2
水道端	1,772	81 (11)	21	102	2
目白台	945	20 (4)	20	40	2
千石	977	14 —	22	36	2
湯島	487	21 (2)	4	25	1
根津	200	10 —	4	14	1
大塚	142	4 —	1	5	1
計	11,697	496 (58)	194	690	19

閲覧環境の整備

- >座席の種類
 - キャレル席(一人机) グループ席
 - 研究用(個室)
 - PC使用可 PC使用不可
 - 資料に対応した座席
 - 参考図書、地図、新聞・雑誌
 - 利用者に対応した座席
 - 児童、YA、障害者(車椅子用・拡大読書器用・対面朗読)
 - 飲食スペース
- >予約制の導入
- >Wi-Fiの整備・・・10月全館対応(予定)

図書館行事について

1 図書館法

第3条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、さらに学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

6 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

2 文京区立図書館行事 平成30年度実績

(1) 大人向け行事

館名	映画会		講演会等		コンサート等	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
真砂中央	3	120	6	231	4	223
本郷	7	199	9	275	3	237
小石川	5	273	5	258	8	421
本駒込	8	269	5	109	20	617
水道端	3	105	14	232	5	213
目白台	12	167	5	77	4	84
千石	19	1,169	23	1,183	4	316
湯島	2	41	6	180	3	94
根津	2	107	1	93	1	102
大塚	—	—	2	26	—	—
合計	61	2,450	76	2,664	52	2,307

平均参加人数 40人 36人 44人

館名	主な開催場所
真砂中央	地下ホール
本郷	汐見地域活動センター会議室
小石川	4階ホール
本駒込	集会室
水道端	集会室・視聴覚ホール
目白台	多用室
千石	アカデミー千石学習室
湯島	アカデミー湯島学習室等
根津	不忍通りふれあい館ホール
大塚	大塚公園集会所

(2) 子ども向け行事

館名	子ども会		子ども映画会		おはなし会等		はじめのいっぽ等	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
真砂中央	10	710	2	185	59	755	50	1,638
本郷	8	494	2	75	26	210	23	353
小石川	13	589	4	197	43	585	50	2,201
本駒込	13	590	4	174	63	937	24	357
水道端	6	348	2	86	24	328	26	643
目白台	12	363	4	202	60	646	12	185
千石	8	794	3	294	52	858	23	282
湯島	4	518	1	27	24	680	12	191
根津	5	451	2	130	12	162	—	—
大塚	7	183	—	—	50	407	12	262
合計	86	5,040	24	1,370	413	5,568	232	6,112

平均参加人数 59人 57人 14人 26人

館名	主な開催場所(おはなし会等)
真砂中央	おはなしのへや
本郷	ねころび台
小石川	和室
本駒込	集会室
水道端	集会室・視聴覚ホール
目白台	多用室
千石	おはなしのへや
湯島	えほんのへや
根津	職員休憩室
大塚	ねころび台

小石川図書館改築の検討について

○ 小石川図書館

昭和41年竣工 平成12年3月耐震補強等改修工事完了

敷地面積668.27㎡ 建築面積416.64㎡

用途地域：第一種中高層住居専用地域 建ぺい率限度：60% 容積率限度：300%

高さ限度：なし 高度地区：第三種高度地区・22m高度地区 防火指定：準防火地域

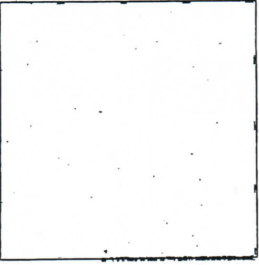
日影規制：4-2.5時間 測定面4m 文教地区：第一種文教地区

	小石川図書館			《参考》真砂中央図書館		
構造	地上4階地下1階			地上4階地下1階		
床面積	1,994㎡			2,893㎡		
座席数	222席 (ホール80席含む)			234席 (ホール80席含む)		
資料数	217,367点 (内訳) 一般 136,052冊 児童 39,612冊 視聴覚 41,703点			245,343点 (内訳) 一般 192,949冊 児童 36,933冊 視聴覚 15,461点		
貸出数	646,600点 (内訳) 一般 353,132冊 児童 190,988冊 視聴覚 102,480点			596,763点 (内訳) 一般 349,321冊 児童 151,802冊 視聴覚 95,640点		
分担収集 担当分野	社会科学(法律・教育)、 音楽・舞踊、日本文学			歴史、社会科学(政治・経済・財政・ 統計・国防・軍事)、産業、地域資料		
行事实績	映画会	5回	273人	映画会	3回	120人
	講座・講演会等	5回	258人	講座・講演会等	6回	231人
	コンサート等	7回	421人	コンサート等	4回	223人
	子ども会	13回	589人	子ども会	10回	710人
	子ども映画会	4回	197人	子ども映画会	2回	185人
	おはなし会	43回	585人	おはなし会	59回	755人
	乳幼児向け	50回	2201人	乳幼児向け	50回	1638人

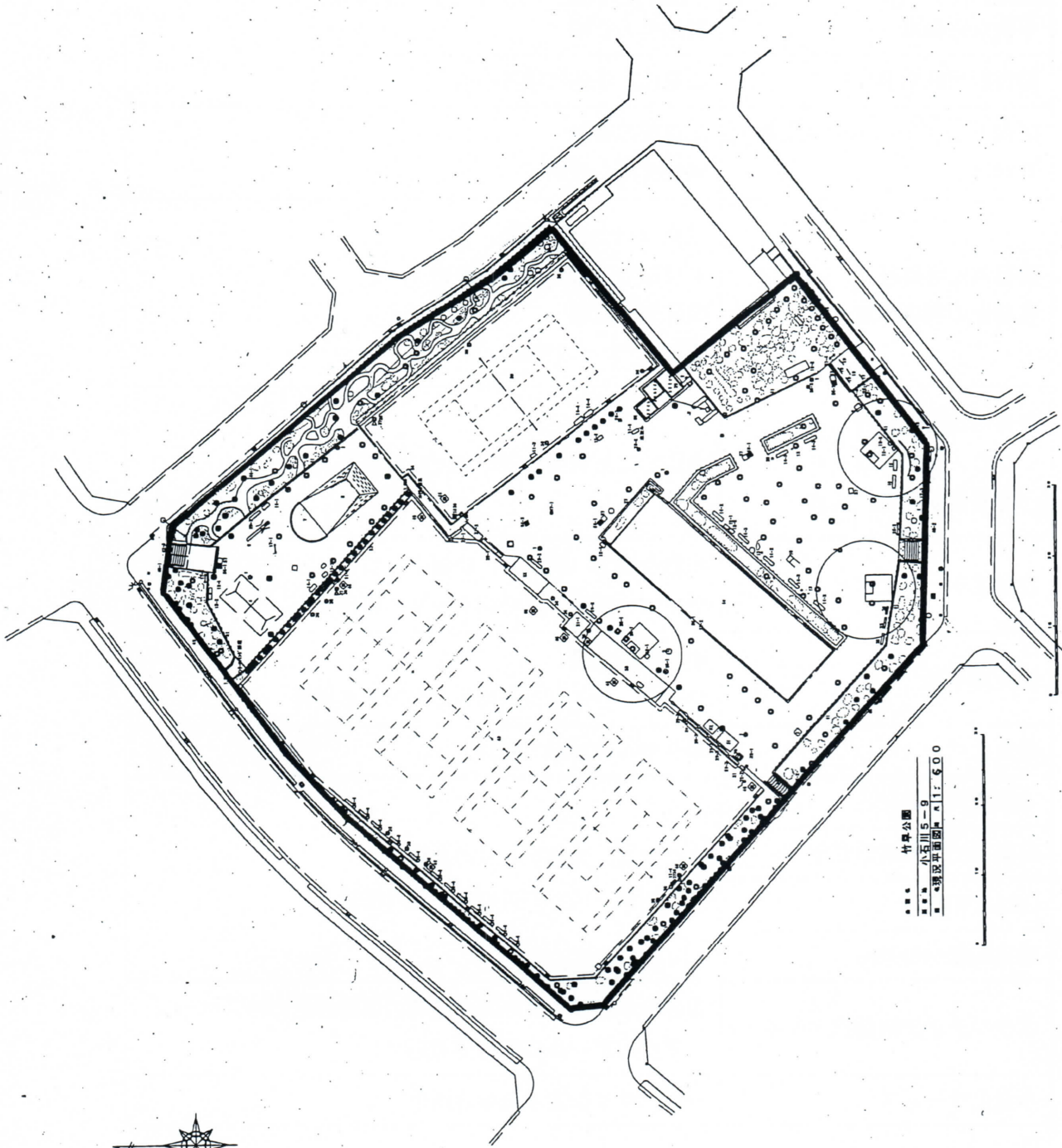
平成31年3月31日現在

○ 小石川図書館の課題

現 状	課 題	
老朽化	空調・給排水設備等の整備 雨漏り等への対応	全面改築
バリアフリー非対応	エレベーターの設置 積層書架（中2階構造）の撤去 現在の規模の維持	
手狭な駐輪場	駐輪場の拡幅	
障害者用駐車場なし	改築後、法的に設置必須	
区内トップレベルの貸出数・ 資料数	蔵書数の確保 集密書庫の設置	
豊富な児童資料 乳幼児の利用増加	児童コーナーの拡充 おはなし会用の部屋の拡充 授乳室の設置 YAコーナーの整備	
豊富な視聴覚資料 CD、LPレコード 音楽関係図書、楽譜	全国的にも貴重な視聴覚資料の活用	
視聴覚ホールを保有	多彩な事業（講演会、映画会、コンサート等）の継続 専用ホールから多目的ホールへの移行	
閲覧席不足	座席数の増設 学習席、サイレント席等の設置の必要性	
飲食スペースなし	滞在型への対応の検討	
不明資料多数発生	ICタグ、入館ゲートの設置 カウンタースペースの効率的な配置	
自動貸出機設置の要望		
OPACの増設		
読書記録への対応		
ボランティア活動室未設置	布の絵本作成や読み聞かせ等の準備のためのスペース 多目的ホールの活用で対応？	
多文化サービス	資料、サイン表示の多言語化	



序	記号	名称	規格	数量	備註
1	○	植栽
2	●	植栽
3	○	植栽
4	●	植栽
5	○	植栽
6	●	植栽
7	○	植栽
8	●	植栽
9	○	植栽
10	●	植栽
11	○	植栽
12	●	植栽
13	○	植栽
14	●	植栽
15	○	植栽
16	●	植栽
17	○	植栽
18	●	植栽
19	○	植栽
20	●	植栽
21	○	植栽
22	●	植栽
23	○	植栽
24	●	植栽
25	○	植栽
26	●	植栽
27	○	植栽
28	●	植栽
29	○	植栽
30	●	植栽
31	○	植栽
32	●	植栽
33	○	植栽
34	●	植栽
35	○	植栽
36	●	植栽
37	○	植栽
38	●	植栽
39	○	植栽
40	●	植栽
41	○	植栽
42	●	植栽
43	○	植栽
44	●	植栽
45	○	植栽
46	●	植栽
47	○	植栽
48	●	植栽
49	○	植栽
50	●	植栽



竹野公園
小石川5-9
植栽配置平面図 1:1000

